

奈良県立五條高等学校 平成 28 年度 学校運営協議会 分校部会（第 1 回）

1 日 時 平成 28 年 11 月 30 日（水） 11 時～ 11 時半

2 場 所 奈良県立五條高等学校 賀名生分校 校長室

3 参加者 （委 員）森本英一、柳澤佳孝、山本肇一（校長）
（事務局）田村隆眞（分校教頭）、花岡重之（分校教務部長）、
川西哲志（分校生徒指導部長）

4 内 容

(1) 校長あいさつ

(2) 協議

分校教育の現状について

五條市並びに西吉野地区の農業の将来性について

・（報告）

生徒数の減少、五條市内中学生の減少、農業従事者の高齢化を受け、「分校魅力向上委員会」を立ち上げ、分校の農業科単独校・全国募集にいたる、これまでの流れ、現時点までの構想（イメージ）を説明。

平成 30 年度の全国募集を目指して、ワーキング会議、プロジェクト会議で細部を検討中。

・（意見・委員）

全国募集するには今の分校校舎の場所では農場・交通の便等、難しい点がある。小・中学校の適正化の後、すみやかに活用できる移転場所に移転してもらうのが望ましい。

・（意見・委員）

来年上期には（全国募集に向けて）動かなければ、9・10月には見学希望者もいるのでは。全国募集するからには、保護者の方が安心できるような寮の施設を作って欲しい。

・（意見・委員）

果樹（柿）の後継者は約 250 人、意欲的な人が多くいる。一方、五條市の今の課題は、休耕田の利用である。休耕田を利用した五條市の新たな産物を、「柿に続く” 第二のブランド” として考えていって欲しい。（例えばニンニク等）。農業の魅力だけでなく、卒業後、生活ができる仕組みを作っていくことが課題である。

・（質問・事務局）

柿などは、「西吉野」としてではなく、「五條市」としてアピールしているのか？

・（回答・委員）

「五條市」として、アピールしていきたい。

・（質問・事務局）

販路について、どうしているか？

・(回答・委員)

JA、イオン、万代等あるが、大量に必要な場合は、逆にJAでの買い付けが必要になる。

・(意見・事務局)

売れるものを分校ブランドにしていきたい。

・(意見・委員)

いいものを作るだけが農業ではない。生活していく上で仕事として経営が成り立つよう育てて欲しい。こだわりだけでは飯は食えない。

・(校長)

本日は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後とも分校をサポートしていただきたい。

(3)その他

・今後の予定について

第2回学校運営協議会(全・定・分) 2月頃 五條高校本校にて開催予定

